

GLOSSY^改

GLASSCOAT

【コーティングアシスト兼用】

施工マニュアル

VOL.3

施工するにあたり、以下のような作業環境をおすすめいたします。

1	施工に支障がないスペース
2	直射日光、雨、風、ホコリなどを防げる屋内
3	エアーホース、水道、電源の確保できる場所
4	蛍光灯などの照明施設

※上記の条件以外で施工した場合は品質、仕上に悪影響を及ぼす可能性があります。



- ① まずボディ表面に乗っている砂、ほこりなどをしっかりと水で流して下さい。
- ② 水で流した後、洗車スポンジにコンディショナーシャンプーを適量取り出します。
- ③ 汚れなどに注意してボディ全体をよく洗って下さい。

⚠ ※十分な脱脂効果を得るためコンディショナーシャンプーは、1 パネル毎に取り出して洗って下さい。

- ④ 隙間にコンディショナーシャンプーが残らないようにしっかりと**高圧洗浄機**にて流してください。
※高圧洗浄機がない場合は圧水にてしっかり流してください。

⚠ ※高圧洗浄機がない場合は圧水にてしっかり流してください。
※気温の高い時は、こまめに圧水にてコンディショナーシャンプーを洗い流してください。

- ⑤ 車両全体をキレイなマイクロファイバークロスで簡単に拭き上げてください。

②



③



コンディショナーシャンプー



洗車スポンジ



コンディショナーシャンプーを使用しない場合は通常の下地準備を行ってください。

例：



- ① グロシーグラスコート本液をよく振り、底に沈殿しないように攪拌して下さい。
- ② 水で濡らし固く絞ったコーティング塗布スポンジ (新品) に瓶の口を当て 5 回前後振るように取り出してください。

⚠ ※塗布スポンジに馴染むまでは少し多めに取り出してください。

- ③ ボディに隙間なく塗布して下さい。

⚠ ※施工範囲目安・・・一度の取り出しでドアパネル半分(フィットクラス)
※縦方向・横方向になじませるように塗り広げてください。
※画像のように重ねるように塗布して下さい。

ガラス、ゴムモール、未塗装の樹脂部分に本液が付着してしまった場合は濡れたマイクロファイバークロスにて速やかに拭き上げて下さい。

スポンジを落としてしまった場合は再使用せずに交換して下さい。



メンテナンスキット+本液

白背板スポンジ



- ① 本液の塗りはじめから15分前後乾燥させてください。
- ② 大量の水を含ませたマイクロファイバークロスにて、塗布したコーティング剤をなでるように粗拭きをしてください。
- ③ ボディ表面に残った水分と一緒にコーティング余剰分を拭き上げてください。

⚠ コーティング余剰分を拭き上げたマイクロファイバークロスでガラスを拭かないように注意して下さい。

- ④ 全体の拭き上げ作業後、隙間に入った水分をエアーガンにて、吹き出して下さい。

⚠ エアーガンでボディに飛び散った水分や、吹き飛ばせなかったドアやボンネットの内側、給油口の中に入り込んだ水分を丁寧に拭き上げて下さい。

淡色車両は上記作業後、施工手順4の③(施工ステッカー貼り)を行って終了となります。

濃色車両の場合、濡れ拭き後に水跡・コーティング余剰ムラを取る為、施工手順4の濃色車両乾拭き仕上を行って下さい。

マイクロファイバークロス



エアーガン



②



②



④



- ① 濡らして固く絞ったマイクロファイバークロスと乾いたファインクロスを御用意下さい。
- ② 車両全体を1パネル毎に濡れ拭き→乾拭きにて仕上げて下さい。
- ③ 施工済みステッカーをリヤガラスに貼ります。

以上で作業終了となります。



マイクロファイバークロス(青)

ファインクロス



コーティング本液を必要以上に厚塗りしたり、乾燥させすぎたりすると、コーティング余剰成分がムラとして残る場合がございます。

- ① 乾いた綺麗なマイクロファイバークロスに本液を取り出して下さい。

⚠ 取り出す本液の量が多すぎる場合再度ムラに見えてしまう場合がありますので少量ずつ取り出して作業してください。

- ② ムラの部分に優しく馴染ませます。

⚠ ※強く擦り過ぎるとキズになる恐れがあります。

- ③ その後マイクロファイバークロスの綺麗な面で本液を拭き上げて下さい。

